

ASBJ Newsletter



目次

1. 企業会計基準委員会の概要（第230回～第231回）
2. EFRAGに対するASBJのコメント
3. FASBとの第11回定期協議を東京で開催
4. 第12回各国基準設定主体（NSS）会議に西川委員長が出席
5. 2011年世界会計基準設定主体（WSS）会議に西川委員長が出席
6. 第13回基準諮問会議を開催
7. FASFセミナー「四半期報告書作成上の留意点(平成23年9月第2四半期提出用)」を開催
8. お知らせ

《ご注意》本文中のハイパーリンク先につきましては、一部、財務会計基準機構の会員限定サイトとなっており、一般の皆様にはご覧頂けないこともございます。あらかじめご了承ください。

1. 企業会計基準委員会の概要（第230回～第231回）

1) 第230回（2011年8月26日開催）

- a. 特別目的会社専門委員会における検討状況
- b. IFRS 第9号の適用日延期（公開草案）
- c. EFRAG 影響度分析コメント対応

- a. 第229回に引き続き、IFRS 第10号が公表されたことに伴い、現行の日本基準との相違点及び日本にIFRS 第10号の考え方を導入した場合の影響のうち、潜在的議決権の取扱いについての検討が行われました。

支配の判定に際しての潜在的議決権の取扱いについて、IFRS 第10号の前のIAS 第27号では、潜在的議決権の存在の考慮が必要（他の当事者保有分の考慮も必要）とされており、IFRS 第10号は、この考え方を引き継いでいます。

また、潜在的議決権をどういった場合に考慮するのかについて、IAS 第27号では、現在行使可能であれば考慮要因としていたのに対して、IFRS 第10号では、実質的な権利であれば支配の考慮要因となるとして、より幅広にこれを捉えています。

日本基準では、IFRS 第10号のような定めはなく、潜在的議決権は、支配の判定に際して考慮されていないため、IFRS 第10号と同様の取扱いの必要性等の検討が行われました。

- b. IASB が IFRS 第9号「金融商品」の強制適用日を延期する公開草案を公表したことについての説明が行われました。

公開草案は、現在、2013年1月1日以後開始する事業年度としている強制適用開始を、2015年1月1日以後開始する事業年度に延期することを提案しています。

- c. 2011年1月に欧州財務報告助言グループ

（EFRAG）から公表された討議資料「会計基準の影響に関する検討」（コメント期限：2011年8月31日）について事務局で取りまとめたコメント案の説明が行われました。

2) 第231回（2011年9月21日開催）

- a. IASB アジェンダ協議文書
- b. IASB 公開草案「IFRS の年次改善」に対するコメント対応
- c. 連結・特別目的会社専門委員会における検討状況
- d. 金融商品専門委員会における検討状況

- a. 2011年7月にIASB から公表された「アジェンダ協議 2011」の概要説明が行われました。

「アジェンダ協議 2011」は、IASB 作業計画の戦略的方向性と全体的なバランスとともに、今後3年間の個々のプロジェクトまたはアジェンダ領域の優先順位に関しての意見を求めることを目的としたものです。

- b. IASB から公表された IFRS の年次改善に係る公開草案の紹介とその対応が検討されました。公開草案では、5つの基準に関する7つの修正案が提案されています。

- c. IFRS 第11号「共同支配の取決め」の概要説明が行われました。

- d. 金融商品に係る検討事項のうち、IASB 公開草案「IFRS 第9号の強制発効日」に対するコメント対応、IASB での検討状況（ヘッジ会計）、分類・測定に係る検討状況の整理に寄せられたコメントへの対応の検討が行われました。

「IFRS 第9号の強制発効日」に関する公開草案へのコメント検討では、適用日の延長を条件付きで認める方向で検討され

ています。

ヘッジ会計の検討では、IASBでの検討状況のうち、FVOCI指定の資本性金融商品をヘッジ会計の対象としたこと等、公開草案から変更のあった部分を中心に事務局より報告が行われました。

検討状況の整理に寄せられたコメント対応については、金融商品の当初認識時において、取引価額が公正価値と著しく異なる場合の会計処理の検討が行われました。

2. EFRAG に対する ASBJ のコメント

企業会計基準委員会（ASBJ）は、EFRAG がコメントを募集していた討議資料「会計基準の影響に関する検討」に対し、2011年8月31日付けでコメントを提出しています。

3. FASB との第 11 回定期協議を東京で開催

ASBJ と米国財務会計基準審議会（FASB）の代表者は、2011年8月18日及び8月19日に、東京で第11回定期協議を開催しました。

本会議において、両者は、お互いのプロジェクトの最新状況を確認し、FASB と IASB が取り組む、以下の個別プロジェクトについての意見交換を行いました。

- (1) 金融商品（FASB と IASB において直近で議論されている金融資産の信用減損モデル、及び FASB において議論が継続されている分類と測定について）
- (2) 収益認識（FASB と IASB により 2011 年第 3 四半期^(*)に公表予定の再

公開草案に向けた検討状況について）

- (3) リース（FASB と IASB により 2011 年第 4 四半期^(*)に公表予定の再公開草案に向けた検討状況について）
- (4) 保険契約（保険契約負債の再測定から生じる変動の影響等の会計処理）

両者は、このような継続的な議論により相互理解を深めることは、ASBJ 及び FASB それぞれのボードにおける今後の審議や、改善を図るべき重要な項目に関して IASB とともに進めている高品質な会計基準の開発に寄与するものと考えています。両者は、引き続き、直面する課題や今後想定される懸案事項について意見交換していくこととしています。

^(*)2011年9月30日時点のIASBの作業計画上、収益認識は2011年第4四半期に、リースは2012年上半期に、各々再公開草案を公表予定とされています。

4. 第 12 回各国基準設定主体（NSS）会議に西川委員長が出席

2011年9月12日及び13日の2日間にわたり、ウィーン（オーストリア）にて第12回各国基準設定主体（NSS）会議が開催されました。オーストリア会計基準委員会主催のもと、英国、米国、カナダ、フランス、ドイツ、オーストラリア、韓国、インド、マレーシア等計30ヶ国・地域の会計基準設定主体と EFRAG 等の関係機関から総勢63名の参加がありました。ASBJ からは、西川委員長、加藤副委員長、野村委員、小賀坂主席研究員、吉岡研究員の5名が参加しています。

本会議は、各設定主体が取り組んでいる研究プロジェクトに関する議論や、IASB

の基準開発へのインプットやサポートを行うことを目的とするものであり、今回は以下のテーマについて議論が行われました。

	議題	担当
9月12日(月)		
1	IASB 作業計画	カナダ
2	各国の時事的な問題	—
	(1)金融商品関係	香港、FASB、EFRAG
	(2)勘定単位	カナダ
	(3)新興経済国ワーキンググループ (EEG)	IASB
	(4)IFRS 第1号の修正	韓国
3	法人所得税	EFRAG
4	IASB アジェンダ協議	IASB、カナダ、インド
9月13日(火)		
5	NSS 会議の運営について	議長
6	ベストプラクティスに関する文書	オーストラリア フランス
7	真実かつ公正なる概観	イギリス
8	各地域グループからの報告	AOSSG EFRAG GLASS PAFA
9	事前及び事後の基準のレビュー	フランス
10	基準設定のフレームワーク	オーストラリア

5. 2011年世界会計基準設定主体(WSS)会議に西川委員長が出席

2011年9月15日及び16日の2日間にわたり、ロンドンで世界基準設定主体(WSS)会議が開催されました。WSS会議は、IASBが世界各国・地域の会計基準設定主体との意見交換のため毎年秋に開催しています。

今回のWSS会議は、約50ヶ国・地域の会計基準設定主体から100名超が参加しています。ASBJからは、西川委員長、加藤副委員長、野村委員、吉岡研究員が出席しました。IFRS導入上の問題に関する報告、IASBのプロジェクト計画や最近の問題意識に関する説明、プロジェクトのアップデート、小グループに分かれてのディスカッションが行われました。議題は以下のとおりです。

【9月15日】

- Hoogervorst議長による挨拶
- 経験の共有
- IASBの将来のアジェンダ
 - ✧ プロジェクトアップデート
 - ✧ 小グループに分かれての議論
 - ✧ 各グループからのフィードバック
- 適用後レビュー
 - ✧ プロジェクトアップデート
 - ✧ 小グループに分かれての議論
 - ✧ 各グループからのフィードバック

【9月16日】

- 早朝個別セッション
 - ✧ IFRS解釈のプロセスと適用
 - ✧ 中小企業(SME)向けIFRSの導入
 - ✧ XBRL IFRSタクソノミー
- 横断的な測定に関する論点
- 個別セッション①
 - ✧ 新基準及びスタッフドラフトのアップデート(IFRS第9号)
 - ✧ 小規模グループディスカッション(概念フレームワーク、連結：投資企業、排出量取引、開示)
- 個別セッション②
 - ✧ 新基準及びスタッフドラフトのアップデート(IFRS第10号、IFRS第11号、IFRS第12号、IFRS第13

- 号、収益・リースプロジェクト)
◇ 小規模グループディスカッション
(概念フレームワーク、連結：投資企業、排出量取引、開示)

6. [第 13 回基準諮問会議を開催](#)

2011 年 9 月 5 日、第 13 回基準諮問会議が行われました。本年 5 月に開催された理事会において第 3 代の基準諮問会議議長に就任された野崎邦夫(住友化学(株)常務執行役員)議長の下、定款に基づき副議長に手塚仙夫(有限責任監査法人トーマツ パートナー)委員を指名し承認されました。

会議では、ASBJ の最近の活動状況についての報告の後、ASBJ のプロジェクト計画表の今後の取扱いなどについて意見交換が行われました。

その後、国際対応活動における本年の予定等について説明が行われました。

7. FASF セミナー「四半期報告書作成上の留意点(平成 23 年 9 月第 2 四半期提出用)」を開催



FASF では、9 月 5 日より東京 (3 回)、大阪、名古屋、福岡、札幌、仙台、金沢、広島、高松の全国 9 都市にて 11 回にわたって「四半期報告書作成上の留意点(平成 23 年 9 月第 2 四半期提出用)」

のセミナーを開催しました。当セミナーでは、併せて金融庁の担当者から「ディスクロージャー制度を巡る最近の動向等」についての説明が行われました。

セミナーの参加者は、延べ約 4,000 人と関係者の関心の高さを窺わせる、盛況なものとなっています。

8. お知らせ

1) 刊行物のご案内

- ① 機関誌「季刊 会計基準」第 34 号
(2011 年 9 月 15 日刊行)

【主な内容】

- ✓ 特集：ASBJ/FASF 設立 10 周年
 - 「設立 10 周年を迎えて」…萩原敏孝 FASF 理事長
 - 「ASBJ の活動の成果と今後の展望」…西川郁生 ASBJ 委員長 他
 - 「これからの ASBJ の活動に期待する」…安藤英義専修大学教授 他
- ✓ Accounting Square: “IFRS と各国の基準設定主体”…鶯地隆継 IASB 理事
- ✓ 特別企画:「IFRS 実務対応グループの活動～減価償却方法、退職給付信託について～」…小賀坂敦 ASBJ 主席研究員

- ② 四半期報告書の作成要領 (平成 23 年 9 月第 2 四半期提出用)

本書では、平成 23 年 9 月第 2 四半期提出用の四半期報告書を作成する上での各項目の記載事例や根拠条文等のほか、作成上の留意点を掲載しています。

※ご購入は[こちら](#)。

※第 30 号より、FASF 会員の皆様は、季刊会計基準に掲載される記事が[ホー](#)

[ホームページ\(会員専用サイト\)よりご覧に
なることができます。](#)どうぞご利用くだ
さい。

2) ASBJ Web セミナーのご案内

ASBJ/FASF では、FASF 会員の皆様が ASBJ の開発する会計基準や ASBJ/FASF の活動をより分かりやすく効率的に理解していただくために、ASBJ Web セミナーをホームページ(会員専用サイト)で提供しています。

最近では、7月19日に実施された[第1回 ASBJ オープン・セミナー2011 の模様](#)を期間限定(2011年11月27日まで)で掲載していますので会員の皆様はどうぞご利用ください。

3) IASB Update (和訳) のホームページ掲載開始

IASB では、概ね1~2カ月に1回程度の回数で基準開発の情報提供として「IASB Update」をIASBのホームページ上で提供しています。ASBJではこのような情報を判りやすく提供するサービスとして、この度「IASB Update」にASBJが独自に対訳したものをホームページに掲載することといたしました。最新の内容は7月及び9月に公表されたものになります。

なお、当分の間、同情報の提供は会員限定とさせていただきます。FASF会員の皆様のご利用をお待ちしています。

“ASBJ Newsletter” (第23号)

2011年10月20日発行

発行：企業会計基準委員会／

公益財団法人 財務会計基準機構

東京都千代田区内幸町 2-2-2

富国生命ビル 20階

編集・発行人：下村昌作

制作：広報プロジェクトチーム

禁無断転載

※ご意見・ご要望は下記までお寄せください。

E-mail：planning@asb.or.jp

Fax：03-5510-2712